

都市公園施設長寿命化計画の概要

【背景と目的】

平成26年度末現在において、茨木市では117箇所の都市公園を管理しておりますが、その内、整備後20年以上経過している公園が6割以上もあり、公園施設の老朽化が進んでいる状態にあります。特に木製遊具の老朽化は著しく、使用できないものや部分的に施設が撤去され十分に機能が発揮できていないもの、故障が絶えないものが増えてきています。

このような状況において、限られた財源の中、市民の方々に安全かつ安心に公園を利用させていただくためには、公園施設の計画的かつ効率的な維持管理が必要となっております。

そこで今回、都市公園施設等におきまして、長寿命化計画を策定することといたしました

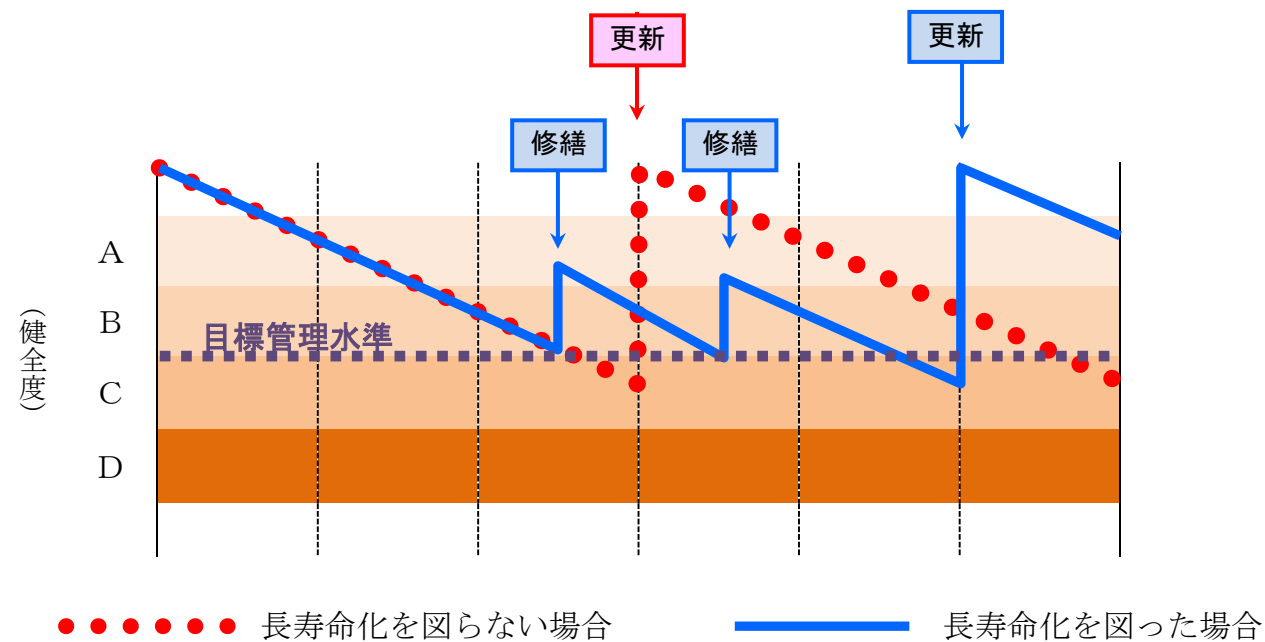
【計画策定スケジュール】

- ◆平成27年度 都市公園施設長寿命化計画策定 65箇所
- ◆平成30年度 都市計画施設長寿命化計画策定 48箇所予定

【長寿命化のイメージ】

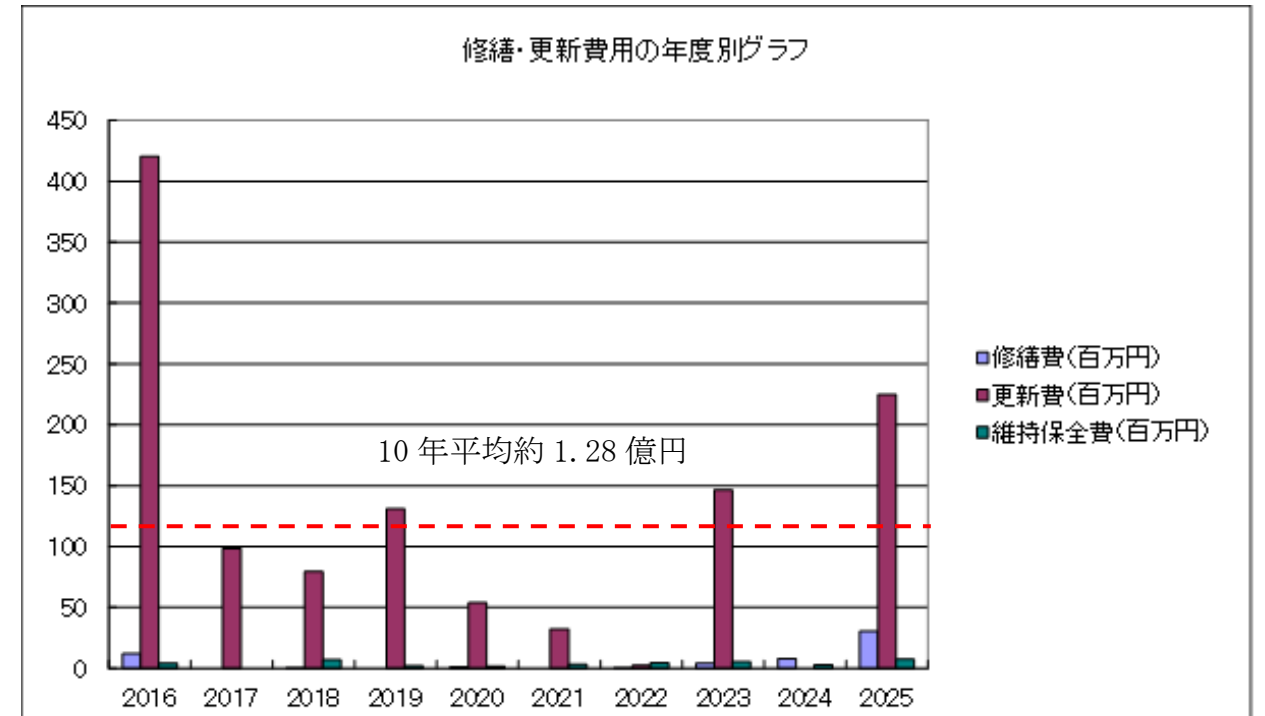
施設の機能や安全性の確保に支障となる劣化や損傷を未然に防止するための修繕を1回～複数回実施することにより施設の延命化を図ります。

$(\text{施設の更新費} + \text{修繕費} \times \text{回数}) / \text{使用年数}$ (長寿命化を図った場合) が施設の更新費/使用年数 (長寿命化を図らない場合の単年度ライフサイクルコスト) より低額だった場合にその差額が長寿命化によるライフサイクルコストの縮減額となります。



【今後10ヶ年における施設の更新計画】

時間経過に伴う劣化・損傷を予測した上で、施設の機能保全や安全性確保に支障となる劣化・損傷を未然に防止し、施設を延命化しながら維持管理した場合において必要な経費は、今後10年間で約12.77億円必要となります。



【予算の平準化】

今後の維持管理費のバランスを確保するため、必要な経費について予算の平準化を行いました。

